

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	病 理 学				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～11月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師	実務経験	病理診断科勤務		
科目目的	疾病の原因、発生の仕組み、経過、転帰の一連の過程を理解する。				
回	授業内容				授業方法
1	病理学の概要と病因論				講義
2	先天性疾患と遺伝病				講義
3	細胞・組織障害				講義
4	物質代謝障害				講義
5	修復と再生				講義
6	循環障害				講義
7	炎症と感染症				講義
8	免疫と免疫異常				講義
9.10. 11.12.	腫瘍(1)、(2)、(3)、(4)				講義
13.14.	病理検査室実習				見学実習
15	試験				
使用教材	医療系学生のための病理学 第4版 講談社				
参考文献	症状を知り、病気を探る 照林社				
成績評価の方法	筆記試験				

科目名		感染症学			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	5月～9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師 他2名	実務経験	実務経験あり		
科目目的	感染症の原因となる微生物について学び、感染症の基礎知識と感染予防対策を理解する。				
学習目標	<p>【微生物学】 病原微生物について看護師としての基礎知識を習得し、主な病原微生物による感染症の特徴を学習する。</p> <p>【免疫学・感染症の基礎知識】 1. 感染症の一般概念と免疫機構の基本を理解し、各論への足がかりをつける。 2. HIV感染の病態的社会的理解を得る。</p> <p>【感染予防】 1. 感染の基礎知識を理解し、感染防止対策の実際を学ぶ。 2. 医療従事者として職業感染の知識と予防方法について理解する。</p>				
回	担当	授業内容			授業方法
1	臨床 検査 技師	<b>【微生物学】</b> I. 微生物へのイントロダクション(Lecture1・8より) 1. 微生物と人間のかかわりあい 2. 微生物を学ぶ意義 3. 微生物学の範囲 4. 医学微生物学の歴史 5. 細菌・ウイルス・真菌・原虫の検査法			講義
2		II. 微生物のアウトライン(Lecture2より) 1. 細菌・ウイルス・真菌・原虫のアウトライン 2. 各微生物の特徴 3. 細菌検査の検体採取時における基本事項 4. 講義内容を確認問題により復習			講義
3		III. 細菌学各論(Lecture9より) ・グラム陽性球菌・グラム陽性(有、無)芽胞桿菌 ・放線菌関連菌・グラム陰性球菌 ・グラム陰性(好気性、通生嫌気性、嫌気性)桿菌 ・らせん菌・スピロヘータ・マイコプラズマ ・リケッチア・クラミジア			講義
4		IV. ウイルス学各論(Lecture10より) ・ポックスウイルス～肝炎ウイルス ・スローウイルス感染症およびプリオン病 ・腫瘍ウイルス			講義
5		V. 真菌学及び原虫各論・寄生虫学(Lecture11・12より) ・真菌学各論(カンジダ～) ・原虫学各論(赤痢アメーバー～) ・寄生虫学 原虫と寄生虫の違いや各寄生虫の簡単な紹介 ・講義内容を確認問題により復習			講義
6	内科 医師	<b>【免疫学・感染症の基礎知識】</b> 感染症の概念と一般論 感染症診断の基礎 抗菌薬の使い方			講義
7		免疫学概念 感染防止機構と各免疫担当細胞の役割 免疫不全とその疾患 ワクチンとは			講義
8		定期接種と任意接種 HIV・AIDSの疾患の理解と世界の趨勢 感染予防対策			講義

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
9	感染管理認定看護師	<b>【感染予防】</b> 感染の基礎知識 ・感染とは ・医療関連感染とは ・感染症の基礎知識 ・感染成立のしくみ ・感染防止技術の基本	講義
10		・標準予防策とは ・経路別感染予防策とは	講義
11		感染防止のための環境整備 ・環境整備 ・ゾーニング ・環境汚染とリスクと対策	講義
12		職業感染対策 ・針刺し防止対策 ・流行性ウイルス疾患予防 麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘 ・結核予防対策	講義
13		洗淨・消毒・滅菌	講義
14		廃棄物の取り扱い 手指衛生・個人防護具の着脱の実際	DVD視聴・演習
15		試験	
使用教材		【微生物学】 ビジュアル微生物学 第2版 ニューヴェルヒロカワ 【免疫学・感染症の基礎知識】ビジュアル微生物学 第2版 ニューヴェルヒロカワ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学① アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 【感染予防】ビジュアル微生物学 第2版 ニューヴェルヒロカワ 病気が見えるVol.6 免疫・膠原病・感染症 系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 感染防止の技術 看護技術プラクティス 第3版 学研	
参考文献		【感染予防】 院内感染予防必携 ハンドブック 第2版 環境感染学会 教育ツール Ver.3 ナーシング・プロフェッション・シリーズ 感染管理の実際	
成績評価の方法		筆記試験	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	薬理学				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	9月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	薬剤師	実務経験	実務経験あり		
科目目的	薬物の特徴・作用機序・管理について学び、薬物が人体に及ぼす影響を理解する。				
学習目標	薬の作用や副作用など薬理学の基礎を学ぶとともに、看護師国家試験の薬物療法の対策に重点を置く。				
回	授業内容				授業方法
1	ガイドンス・医薬品総論(医薬品とは)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に従い理解を深めるため、パワーポイントを用いた講義形式を実施する。</li> <li>・国家試験対策を重視し、過去問の確認を繰り返し行うことにより、薬理学の知識を身近なものとして修得する。</li> <li>・確認問題を復習のまとめとして行</li> </ul>
2	医薬品総論(薬の作用原理・適正な使用)				
3	生活習慣病に使用する薬(生活習慣病とは・高血圧)				
4	生活習慣病に使用する薬(狭心症・脂質異常)				
5	生活習慣病に使用する薬(糖尿病・脳血管障害)				
6	がん・痛みに使用する薬				
7	脳・中枢神経系疾患で使用する薬				
8	感染症に使用する薬				
9	救急救命時に使用する薬				
10	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬				
11	消化器系に作用する薬				
12	ホルモンと皮膚及び眼科外用薬				
13	水分・電解質・輸液に使用する薬				
14	正しく投与するための投与量計算				
15	試験				
使用教材	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学				
成績評価の方法	筆記試験				

科目名		治療論			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	7月～11月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師、認定看護師他	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	治療法の意義と内容について学び、人体に及ぼす影響を理解する。				
学習目標	<p>【診断と治療】 診断・治療の概要について看護に必要な知識を習得する。</p> <p>【放射線療法】 1. 放射線検査、画像検査について理解する。 2. 放射線療法の原理や目的が理解でき、実際の放射線療法をイメージすることができる。 3. 放射線の人体に及ぼす影響を理解できる。</p> <p>【救急法・麻酔療法】 麻酔、救急処置法について理解する。</p> <p>【手術療法】 外科手術の意義を理解し、手術によって生体がどのように反応するか知ったうえで、必要な看護の基本を習得する。</p> <p>【化学療法】 がん化学療法看護に基礎知識を習得する。</p>				
回	担当	授業内容			授業方法
1	医師	<p>【診断と治療】</p> <p>1. 診断・治療 2. 問診(ロールプレイ) 座る位置や角度について</p>			講義
2	放射線科 医師	<p>【放射線療法】</p> <p>超音波検査、核医学検査</p> <p>1. 一般X線撮影の原理</p>			講義
3		<p>2. CTの基本、造影剤について 3. MRIの原理、高磁場MRIの危険性 4. 血管造影とIVR</p>			講義
4	放射線療法認定 看護師	<p>1. 放射線療法の原理、目的・方法 2. 放射線治療の種類、実際の放射線治療 3. 放射線防護</p>			講義
5		<p>DVD視聴 どのように放射線治療が行われているかイメージが出来る</p>			講義
6	麻酔科医 師	<p>【救急法・麻酔療法】</p> <p>1. 麻酔法 麻酔とは、麻酔の種類</p>			講義
7		<p>2. 手術前の管理 手術中の管理(モニター)、手術後の管理、合併症など 3. 全身麻酔について 気道確保法 4. 麻酔導入法、吸入麻酔、静脈麻酔 局所麻酔について 局所麻酔薬、脊髄くも膜下麻酔／硬膜外麻酔 5. 救急処置法 BLS、ACLS、AED、BLSの実際</p>			
8	外科医 師	<p>【手術療法】</p> <p>1. 手術療法とは 1)外科学と手術の歴史 2)手術療法の位置づけ 3)治療手技としての手術 4)手術療法の将来</p>			講義
9		<p>2. 手術侵襲と生体の反応 1)手術侵襲の意味</p>			

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
10		2) 侵襲に対する生体反応 3) サイトカインによる生体調節機能 4) 手術と臓器不全 3. 周手術期管理と術後合併症 1) 周手術期管理とチーム医療 2) 周手術期看護の基本 3) 手術後の疼痛管理 4) 術後合併症とその予防	講義
11	がん化学療法認定看護師	【化学療法】 1. がんの基礎知識 2. 抗悪性腫瘍薬の種類と特徴 3. レジメンの構成	講義
12		1. 抗がん剤が患者に与える影響 2. 抗がん薬の危険性 3. 暴露対策	講義
13		4. 副作用(悪心・嘔吐) 1. 副作用 骨髄抑制、脱毛、末梢神経障害	講義
14		1. 外来化学療法の実際と課題 2. 事例紹介	講義
15		試験	
使用教材		単元: 診断と治療 系統看護学講座 別巻 医学概論 医学書院 単元: 放射線療法 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 単元: 救急法・麻酔療法、手術療法 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 単元: 化学療法 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院	
参考文献		【化学療法】 がん診療レジデントマニュアル 第5版 医学書院 ほか	
成績評価の方法		筆記試験	

科目名		疾病と治療 I (呼吸器・循環器)			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	6月～10月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師2名	実務経験	実務経験あり		
科目目的	呼吸器・循環器系疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1 2 3 4 5 6 7	内科 医師	<b>【呼吸器】</b> 呼吸器の構造と機能 呼吸器系の症状と病態生理 呼吸機能検査・処置 疾患の理解① 疾患の理解② 疾患の理解③ 疾患の理解④			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
8.9  10  11.12  13  14 15	循環器内科 医師	<b>【循環器】</b> I. 循環器系の主要症状について ・胸痛 ・動悸 ・呼吸困難 ・浮腫 ・チアノーゼ ・失神 ・四肢の疼痛 ・ショック II. 検査・治療・処置 ①検査 心電図、X線検査、心エコー図、心臓カテーテル法、 血行動態モニタリング(肺動脈圧、肺動脈楔入圧、 心拍出量、CVP、観血的動脈圧モニタリング) 核医学検査(心筋シンチ) ②内科的治療 ・一般療法 ・薬物療法 ・心臓カテーテル治療 ・カテーテルアブレーション ・ペースメーカー治療 ・外科的治療(冠動脈バイパス術) III. 疾患と治療の理解 ①虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞) ②心不全 ③弁膜症 ④高血圧 ・血圧の測り方、高血圧の分類、高血圧による影響、薬物療法 ⑤不整脈 ・興奮伝導の異常による不整脈(房室ブロック、心房細動、 心房粗動、心室細動、心室粗動、 ・洞機能不全症候群 ⑥心筋疾患、先天性心疾患、肺性心 試験			講義  講義  講義  講義  講義
使用教材		単元:呼吸器 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 医学書院 2. ビジュアル微生物 第2版 ニューヴェルヒロカワ 単元:循環器 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 医学書院			
成績評価の方法		筆記試験			

科目名		疾病と治療Ⅱ(消化器・腎泌尿器)			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	6月～9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師3名	実務経験	実務経験あり		
科目目的	消化器・腎泌尿器系疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。				
学習目標	1. 消化器疾患でおこる症状および診断のための検査、治療を理解する。 2. 代表的な消化器疾患の症状、診断、治療について理解する。 3. 腎・泌尿器系疾患の病態および検査・治療などに関して理解する。 4. 歯・口腔系疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1		<b>【消化器】</b> 消化器疾患でおこる症状・徴候と病態生理: ・嚥下困難・胸やけ・嘔吐・腹痛・吐下血・下痢・便秘・腹部 ・食欲不振・腹水・黄疸・意識障害			講義
2		消化器疾患の検査① ・身体診察・糞便検査・肝機能検査・栄養状態のアセスメン ・膵外分泌機能検査・超音波検査・内視鏡検査・肝生検他			講義
3		消化器疾患の検査②/消化器疾患の治療 放射線検査・X線CT・MRI・肝シンチ・PET			講義
4		薬物療法・食事療法・手術療法・放射線療法 疾患の理解① 食道疾患、胃・十二指腸疾患 ・食道がん・食道アカラシア・胃食道逆流症・機能性胃腸			講義
5		疾患の理解② 腸および腹膜疾患 ・過敏性腸症候群・腸炎・腹膜炎・虫垂炎・ヘルニア・イレ			講義
6		疾患の理解③ 肝胆膵の疾患・急性腹症・腹部外傷 ・肝炎・肝硬変・門脈圧亢進症・肝不全・肝がん・肝外傷・ ・急性胆嚢炎・胆管炎・胆管がん・胆嚢がん・胆嚢ポリープ			講義
7		・肝寄生虫疾患・膵炎・膵がん・急性腹症・腹部外傷 まとめ 消化器疾患の総まとめ			講義
8	腎・泌尿器科 医師	<b>【腎・泌尿器】</b> 腎・泌尿器系 症状とその病態生理 尿の異常・排尿症状・水/電解質異常・循環器系の異常など			講義
9		検査と治療・処置			講義
10		診断法、主な検査・レントゲン検査・内視鏡など			講義
11		疾患の理解 腎不全、慢性腎臓病など			講義
12		感染症、尿路通過障害、尿路機能障害、尿失禁			講義
13		腎尿路外傷・異物、尿路結石症 尿路性器の腫瘍、先天異常など			講義
14	歯科・口腔外科 医師	<b>【消化器】</b> 1. 歯科の一般知識 ①②歯式 ③う蝕と歯周疾患 ④口腔ケア 2. 口腔外科疾患 ①炎症 ②嚢胞 ③外傷 ④顎変性症 ⑤腫瘍			講義



釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
15		試験	
	使用教材	<b>単元:消化器</b> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑮ 歯・口腔 医学書院 <b>単元:腎・泌尿器</b> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院	
	参考文献	病気がみえる vol. 1 消化器 第4版 メディックメディア 適宜資料配布	
	成績評価の方法	筆記試験	

科目名		疾病と治療Ⅲ(運動器・脳神経)			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	6月～ 9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師6名	実務経験	実務経験あり		
科目目的	運動器・脳神経系疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。				
学習目標	1. 運動器疾患の基本的な治療概念について、知識を習得する。 2. 脳神経系における内科的・外科的疾患について、検査・診断・治療を理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1 2 3 4 5 6	整形外科 医師3名	<b>【運動器】</b> 上肢の疾病と治療① 上肢の疾病と治療② 脊柱の疾病と治療① 脊柱の疾病と治療② 下肢の疾病と治療① 下肢の疾病と治療②			講義 講義 講義 講義 講義 講義
7  8 9 10	脳神経外科 医師2名	<b>【脳神経】</b> 1. 主な症状とその病態生理 ・脳死 ・反射性運動の障害(瞳孔異常、嚥下障害、排泄障害、呼吸障害) ・頭蓋内圧亢進症状と脳ヘルニア ・髄膜刺激症状 ・頭痛 2. 検査 ・CT ・MRI ・脳血管撮影 ・SPECT/PET ・脳脊髄液検査 3. 治療・処置 ・治療・処置の詳細は疾患の各論で 4. 脳脊髄性疾患(疾患各論) ・脳血管障害2(脳梗塞など) ・脳血管障害1(くも膜下出血・脳内出血) ・脳腫瘍 ・脳感染症 ・てんかん ・顔面痙攣・三叉神経痛 ・頭部外傷 ・水頭症 ・脊髄疾			講義  講義 講義 講義
11 12 13 14	神経内科 医師	神経疾患の症状 ・大脳高次機能障害 ・運動機能の障害 ・言語障害 パーキンソン病の検査・診断・治療 多発性硬化症の検査・診断・治療 運動ニューロンに関する疾患 筋委縮性側索硬化症(ALS)、 ギランバレー症候群など			講義  講義 講義 講義
15		試験			
使用教材	単元:運動器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩運動器 医学書院 単元:脳神経 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦脳・神経 医学書院				
参考文献	脳神経外科学 金芳堂 クリッピング・バイパス・CEAの論理と技術 メディカ出版				
成績評価の方法	筆記試験				

科目名		疾病と治療Ⅳ(血液・造血器、免疫・アレルギー、内分泌・代謝)				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	11月～2月	
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間	
担当教員	医師2名	実務経験	実務経験あり			
科目目的	血液・免疫・内分泌疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。					
学習目標	1. 血液造血の基礎知識をもとに、血液疾患を理解する。 2. 免疫機能の低下からくる膠原病の病態を理解する。 3. 免疫・内分泌疾患について、病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。					
回	担当	授業内容			授業方法	
1 5 4	内科 医師	<b>【血液・造血器、免疫・アレルギー】</b>			講義  講義  講義  講義  講義  講義	
5 5 8		血液細胞の分化 各血液細胞の働き 血液細胞の分化からみた白血病の分類と治療 骨髄移植 その他の血液悪性腫瘍の理解 (悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など) 出血性疾患、凝固異常症の理解				
		自己免疫とは何か 自己免疫疾患の発生機序 自己免疫と膠原病 膠原病の症状 膠原病の検査 膠原病の治療 膠原病各論 (関節リウマチ、SLE、SSC、PM・DM、MCTD、シェーングレーン症候群 血管炎症症候群、抗リン脂質抗体症候群)				
9 10 11 12 13 14		内科 医師	<b>【内分泌・代謝】</b>			
			視床下部—下垂体(前葉、後葉)疾患 甲状腺、副甲状腺疾患 副腎疾患 糖尿病 その他の疾患 総括			
15		試験				
使用教材		単元:血液・造血器 系統看護学講座 成人分野Ⅱ 成人看護学④血液・造血器 医学書院 単元:免疫・アレルギー 系統看護学講座 成人分野Ⅱ 成人看護学⑩アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 単元:内分泌・代謝 系統看護学講座 成人分野Ⅱ 成人看護学⑥内分泌・代謝 医学書院				
成績評価の方法		筆記試験				

科目名		疾病と治療Ⅴ(感覚器・女性生殖器)			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	9月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師 他4名	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	感覚器・女性生殖器の構造と機能、それらの病態が人体に及ぼす影響を学び、診断・治療を理解する。				
学習目標	1. 感覚器系(耳・鼻・咽頭・眼)、女性生殖器系、触覚器系の構造と機能を理解する。 2. 感覚器系(耳・鼻・咽頭・眼)、女性生殖器系、触覚器系に関して、主な症状や病態、診察・治療、疾患について理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	産婦人科 医師	<b>【女性生殖器】</b> 成人看護学⑨ 女性生殖器 第3章 症状とその病態生理			講義
2		成人看護学⑨ 女性生殖器 第4章 A. 診察・検査			講義
3		B. 治療・処置			講義
4		成人看護学⑨ 女性生殖器 第5章 疾患の理解			講義 講義
5		A. 性分化疾患 B. 臓器別疾患 外陰、膣、子宮、卵管、卵巣、 骨盤炎症性疾患 C. 機能的疾患 月経異常、更年期障害、不妊症、 不育症、感染症			講義
6	乳がん 認定 看護師	1. 乳がんの疫学 2. 乳がんの特徴 3. 乳がんの発生機序 4. 乳がんの種類 5. 乳がんの診断 6. 乳がん検診・自己検診			講義
7		乳腺疾患 1. 乳がんの治療 2. 手術 3. 薬物療法 4. 放射線療法 事例紹介			講義
8	耳鼻 咽喉 科医 師	<b>【感覚器】</b> 耳の疾患			講義
9		鼻・咽喉頭疾患			講義
10	眼科 医師	Ⅰ. 視覚器の解剖・生理			講義
11		Ⅱ. 眼科の特徴(検査、治療)			講義
11		Ⅲ. 視覚器の疾患 緑内障 白内障 網膜剥離 糖尿病性網膜症			
12	皮膚 科医 師	触覚器系の検査・治療			講義
13		皮膚の疾患 熱傷、凍傷、母斑、腫瘍など			講義
14		皮膚の疾患 感染症など			講義

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
15		試験	
	使用教材	<p><b>単元:女性生殖器</b> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨女性生殖器 医学書院</p> <p><b>単元:感覚器</b> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑫皮膚 医学書院</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼 医学書院</p> <p>3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉 医学書院</p>	
	参考文献	<p>1. がん看護セレクション 乳がん患者ケア 学研</p> <p>2. 患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2014年版 金原出版株式会社</p> <p>3. 科学的根拠に基づく 乳がん診療ガイドライン 1治療編 2疫学・診断編 2015年版 金原出版株式会社</p> <p>4. 臨床・病理 乳癌取り扱い規約 2008年 9月第16版 金原出版株式会社</p>	
	成績評価の方法	筆記試験	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		臨床栄養			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	6月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	大学講師 管理栄養士	実務経験	臨床実務経験あり(管理栄養士)		
科目目的	人間にとって必要な栄養素や栄養摂取の意義を理解し、健康の保持、疾病の回復のための栄養食事療法とチームの連携について理解する。				
学習目標	人間にとって必要な栄養素や栄養摂取の意義を理解し、健康の保持、疾病の回復のための基礎的な原理、栄養食事療法及びチームの連携について理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	大学 講師	人間栄養学と看護 栄養を学ぶということ 栄養とは、栄養素と人間の栄養状態、栄養学の歴史			講義
2		栄養素の種類とはたらき 糖質:糖質の種類及びはたらき 脂質:脂質の種類及びはたらき、コレステロールのはたらき タンパク質:タンパク質、アミノ酸の種類及びはたらき			講義
3		栄養素の種類とはたらき タンパク質:タンパク質の栄養価 ビタミン:ビタミンの種類、脂溶性ビタミンのはたらき			講義
4		栄養素の種類とはたらき ビタミン:水溶性ビタミンのはたらき ミネラル:ミネラルの種類及びはたらき			講義
5		食物の消化と栄養素の吸収・代謝 食物の消化、栄養素の吸収、血しょう成分と栄養素			講義
6		食物の消化と栄養素の吸収・代謝 栄養素の代謝、吸収、代謝産物の排泄			講義
7		エネルギー代謝 食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー代謝の測定、エネルギー消費			講義
8	管理 栄養	・臨床栄養2) 栄養補給方～5) 静脈栄養 ・症状を持つ患者の栄養食事療法 ・ショック ・発熱・低体温 ・嚥下障害			講義
9		・呼吸器疾患 ・循環器疾患 ・代謝性疾患(脂質異常症のみ)			講義
10		・消化器疾患患者の栄養食事療法(胃炎～下痢)			講義
11		・消化器疾患患者の栄養食事療法(慢性肝炎～胃食道逆流症)			講義
12		・腎・泌尿器疾患患者の栄養食事療法(腎疾患の治療と概要)			講義
13		・腎・泌尿器疾患患者の栄養食事療法(栄養食事療法の原則・実際)			講義
14		・代謝性疾患患者の栄養食事療法(肥満～ビタミン・ミネラル欠乏) ・代謝性疾患患者の栄養食事療法(脂質異常症除く) ・血液疾患患者の栄養食事療法 ・熱傷・褥瘡の栄養食事療法 ・精神・神経疾患患者の栄養食事療法 ・術前・術後の栄養管理 ・がん患者の栄養管理 ・アレルギー ・骨粗鬆症 ・医療保険制度と食事			講義
15	試験				
使用教材	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③ 栄養学 医学書院 2. 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		リハビリテーション			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	6月～9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	精神保健福祉士、理学療法士 他	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	リハビリテーションの基礎を学び、障害をもつ人々の生活支援を理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	作業療法士	<b>【概念】</b> 1. リハビリテーションとは何か ①定義 ②目的 ③実際の事例で考える 2. 障害発生の時期から見たリハビリテーション ①急性期 ②回復期 ③維持期			講義
2		1. ICFの概念で考える ①健康状態 ②生活機能 ③背景因子 2. 環境因子としての福祉用具			講義
3	理学療法士	<b>【理学療法】</b> 1. リハビリテーションと理学療法 理学療法とは？ 理学療法士とは？ 当院での理学療法士の働き方 当院でのナースとの連携について 理学療法士から求めるナース像			講義
4		2. 日常起こり得るリハビリテーション 松葉杖・一本杖の合わせ方と歩き方 関節可動域の測定 筋力強化訓練の指導 階段の歩行方法 効果的な移乗方法 胸郭の可動域練習 リラクゼーション			講義 実技
5		3. ケース検討 ケースの問題点を抽出 リハビリスタッフとの情報共有			講義
6	作業療法士	<b>【作業療法】</b> ・作業療法とは ・作業療法士が捉える「作業」とは ・ICFの実践例 ・作業療法の実際 評価⇒目標設定⇒訓練⇒終了までの流れ ・他職種協業の重要性 ・ニーズの把握 ・生活の再構築について ・在宅に向けた支援 ・作業療法の実際 疾病・病期による違い ・認知症の評価 HDS-RとMMSE ・高次脳機能障害 ・ADL評価 Barthel indexとFIM ・ADLの具体的支援 自助具・福祉用具の活用を中心に			講義
7					講義
8	言語聴覚士	<b>【言語療法】</b> ・言語聴覚士(ST)とは ・対象疾患 ・コミュニケーション ・失語症 評価法、タイプ分類、訓練法 コミュニケーション方法 ・構音障害			講義 実技

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
9		評価法、訓練法、コミュニケーション方法 摂食・嚥下障害について ・メカニズム ・評価法 ・訓練法 ・口腔ケア ・実技(摂食嚥下障害体験、頸部聴診法)	講義
10	理学療法士	<b>【呼吸・循環】</b> I. 呼吸器疾患のリハビリテーションについて 1. 呼吸器疾患の基礎 1) 呼吸器系の解剖 2. 呼吸器疾患に対する理学療法 1) 慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーション 2) 肺炎予防のための排痰法について 3. 各種排痰法について 1) 体位排痰法 2) 徒手的排痰法 3) 咳の介助方法 II. 循環器疾患のリハビリテーションについて 1. 循環器疾患の基礎 1) 心臓の解剖など 2) 心不全について 3) 虚血性心疾患について 2. 心不全のリハプログラム 1) 心不全のプログラム 2) 運動の中止基準	講義
11	作業療法士	<b>【緩和医療】</b> 1. がんリハビリの関係 2. 緩和ケアのリハビリについて 1) 維持的アプローチの実際 2) 緩和的アプローチの実際 ①呼吸困難感 ②浮腫 ③倦怠感 3. 事例紹介	講義
12	精神保健福祉士	<b>【精神障害とリハビリ】</b> 地域精神保健福祉の概要とリハビリテーションの基本的学習	講義
13		SSTの基本体感、GWの基本体感 当事者のメッセージ	講義
14		精神科リハビリの確認、まとめ	講義
15		試験	
使用教材		単元: 理学療法・作業療法・言語療法・緩和医療 ナーシングクラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護 メディカ出版 単元: 精神障害とリハビリ 新体系 看護学全書 精神看護② 精神障害をもつ人の看護(メヂカルフレンド社)	
参考文献		講義中に適宜提示する	
成績評価の方法		筆記試験	